

作成日：2026 年 5 月 11 日

版数：第 1.0 版

複数施設研究用

【情報公開文書】

原発巣不明の脊椎腫瘍における MRI wrap-around sign の
診断精度に関する多機関共同後ろ向き観察研究

1. 研究の対象

2006 年 1 月から 2026 年 3 月までに、秋田大学医学部附属病院又は札幌医科大学付属病院で、画像検査により脊椎腫瘍が見つかり、初診時に明らかな原発巣が同定されていない、又は診断が確定できず生検を受けられた方を対象とします。生検前 MRI がない方、治療後に MRI が撮像された方、病理診断が確定できない方などは対象外となります。

2. 研究目的・方法

脊椎腫瘍の中には、悪性リンパ腫が脊椎に発生又は広がる場合があります。MRI で腫瘍が椎体や椎骨の周囲を取り巻くように見え、皮質骨の形が保たれている所見は wrap-around sign と呼ばれ、悪性リンパ腫を示す可能性があります。本研究では、過去の診療録、MRI 画像、病理診断の情報をを用いて、この所見が悪性リンパ腫をどの程度正確に見分けられるかを調べます。新たな検査、採血、来院、治療の変更はありません。

研究実施期間：研究機関の長の許可日から 2031 年 3 月 31 日まで

試料・情報の利用及び提供開始予定日：2026 年 9 月 19 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、MRI 画像所見 (wrap-around sign の有無)、病理診断名等を用います。研究目的で新たな試料は採取しません。

4. 外部への試料・情報の提供

試料・情報は個人が特定できないよう氏名等を削除し、電子的配信により共同研究機関から提供を受けます。

5. 研究組織

研究代表機関：秋田大学大学院医学系研究科 整形外科学講座 研究代表者：木村竜太

共同研究機関：札幌医科大学 整形外科学講座 研究責任者：塚本有彦

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

札幌医科大学 整形外科学講座 研究責任者：塚本有彦

〒060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目291番地

電話：011-611-2111

研究代表者：

秋田大学大学院医学系研究科 整形外科学講座 木村竜太

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科

研究科長 宮腰 尚久